

2018年度 通期 業績概要

注意事項

- **当社は、2017年度より決算期を3月20日から2月末日に変更しております。**
 - ・ **2017年度 実績は、対象期間を決算期変更前の2017年3月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉として記載しています。**
 - ・ **2018年度 通期業績値と比較対象となる2017年度 通期業績値の期間が異なっているため 前年同期比の表記は〈参考値〉として記載しています。**
- 本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。
- 本資料に記載の数値は四捨五入にて表示しており、決算短信など他資料と異なる場合がありますので、ご了承ください。

株式会社 安川電機 (TSE6506)

(対象期間：2018年3月1日～2019年2月28日)

目次

1. 2018年度通期 連結決算

- 2018年度通期 実績
- 主要事業の概要
- 事業セグメント別売上高構成比
- 仕向先別売上高 / 売上高構成比
- 営業利益増減要因分析

2. 中期経営計画「Dash 25」の達成状況

- 「Dash 25」の成果と課題

3. 2019年度通期 連結決算見通し

- 2019年度通期 見通し
- 営業利益増減要因分析
- 2019年度における取り組み
- 株主還元（自己株式の取得,配当金推移）

4. 参考資料

- セグメント変更による過年度の組換表示
- 設備投資,研究開発費,為替レート・感応度
- B/S構造の推移
- 連結売上高・営業利益推移
- 四半期連結売上高推移
- 四半期連結受注推移
- 主要生産拠点

セグメント別事業概要

モーションコントロール

【主要製品】

- ・ A Cサーボモータ、コントローラ
- ・ リニアサーボ
- ・ インバータ

など

ACサーボ
Σ-7シリーズ



安川インバータ
新シリーズ



GA500

GA700

マトリクス
コンバータ
U1000



ロボット

【主要製品】

- ・ 産業用ロボット
 - アーク・スポット溶接, 塗装用途向け
 - FPD搬送, ハンドリング用途向け
- ・ 半導体製造装置用ロボット
- ・ バイオ・メディカル用途向けロボット
- ・ 人協働ロボット

など



新小型ロボット
MOTOMAN-GP8

新型7軸アーク溶接
ロボット
MOTOMAN-AR1440E



人協働ロボット
MOTOMAN-HC10DT
ハンドキャリータイプ

システムエンジニアリング

【主要製品】

- ・ 鉄鋼プラント用電機システム
- ・ 上下水道用電気計装システム
- ・ 大型風力発電用電機品
- ・ 太陽光発電用パワーコンディショナ

など



大型風力発電用
発電機とコンバータ



連続鋳造設備



太陽光発電用
パワーコンディショナ
XGI1000 65kW



上下水道用
電気計装システム

その他

【主要製品】

- ・ EV用モータドライブシステム
- ・ 物流サービス

など

1. 2018年度通期 連結決算

2018年度 通期実績（連結）

- 売上高は堅調も、米中貿易摩擦などの影響を受け減益

	2018年度	2017年度	前年度比 <small>〈参考値〉</small>	
	実績	実績 <small>〈参考値〉</small>	増減額	増減率
売上高	4,746億円	4,645億円	+101億円	+2.2%
営業利益	498億円	571億円	▲74億円	▲12.9%
経常利益	508億円	583億円	▲75億円	▲12.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	412億円	417億円	▲6億円	▲1.4%

2018年度 通期実績（セグメント別）

- モーションコントロールが伸び悩んだものの、ロボットの売上高は伸長
- システムエンジニアリングは再編効果により黒字転換

	2018年度		2017年度		前年度比〈参考値〉	
	実績	利益率	実績 〈参考値〉	利益率	増減額	増減率
(単位：億円)						
売上高	4,746		4,645		+101	+2.2%
モーションコントロール	2,054		2,152		▲98	▲4.6%
ロボット	1,780		1,668		+112	+6.7%
システムエンジニアリング	595		613		▲18	▲3.0%
その他	318		211		+106	+50.2%
営業利益	498	10.5%	571	12.3%	▲74	▲12.9%
モーションコントロール	339	16.5%	423	19.6%	▲84	▲19.8%
ロボット	173	9.7%	185	11.1%	▲12	▲6.3%
システムエンジニアリング	1	0.1%	▲21	▲3.4%	+22	-
その他	4	1.4%	▲2	▲0.7%	+6	-
消去または全社	▲20	-	▲14	-	▲6	-
経常利益	508	10.7%	583	12.6%	▲75	▲12.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	412	8.7%	417	9.0%	▲6	▲1.4%

主要事業の概要_モーションコントロール

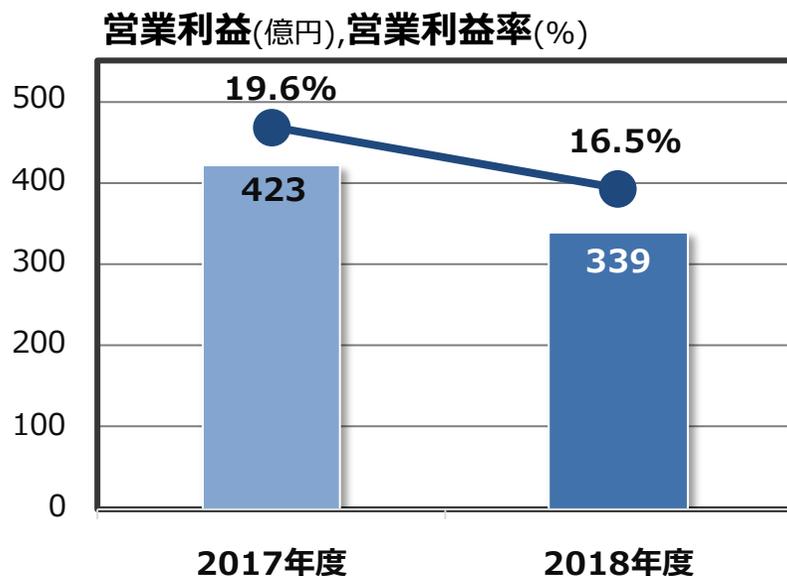


【売上高】

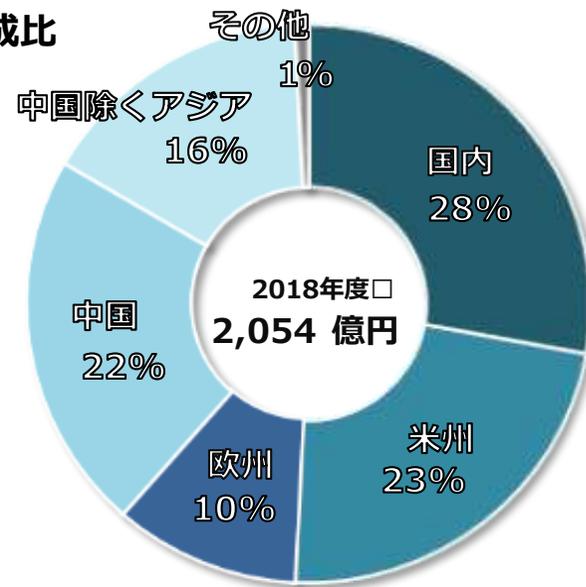
- ACサーボはスマートフォンや半導体関連の設備投資需要の急減速や、米中貿易摩擦問題による中国製造業の投資抑制などの影響を受け伸び悩む
- インバータは米国オイル・ガス関連需要を受け堅調

【営業利益】

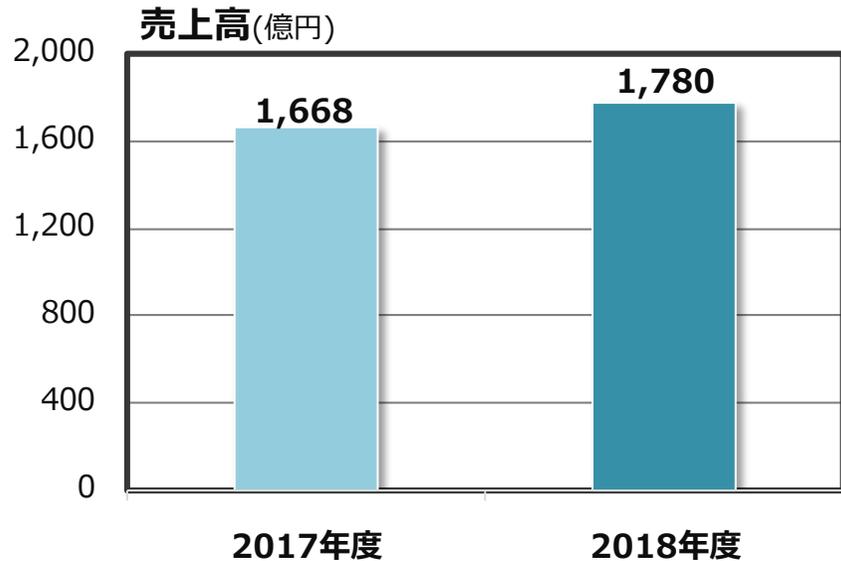
- ACサーボが中国を中心に大きく減速したため営業利益は減少



仕向先別売上高構成比



主要事業の概要_ロボット

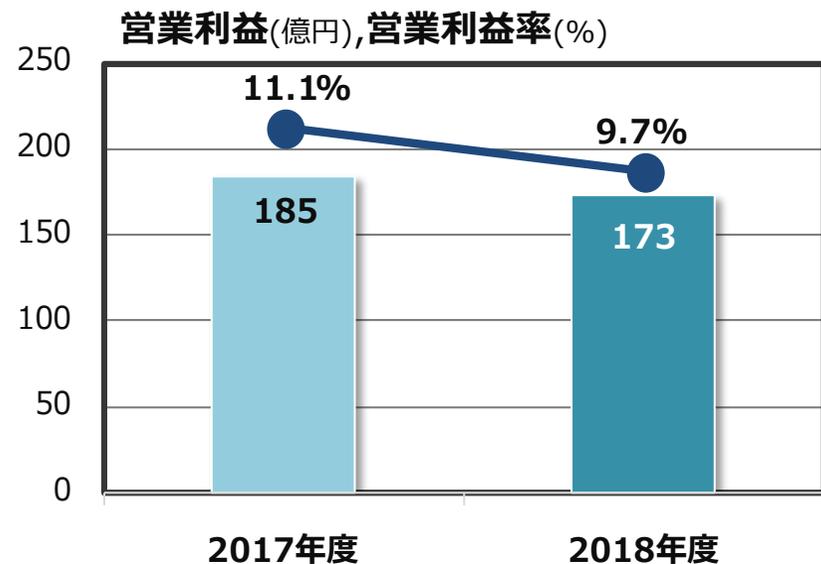


【売上高】

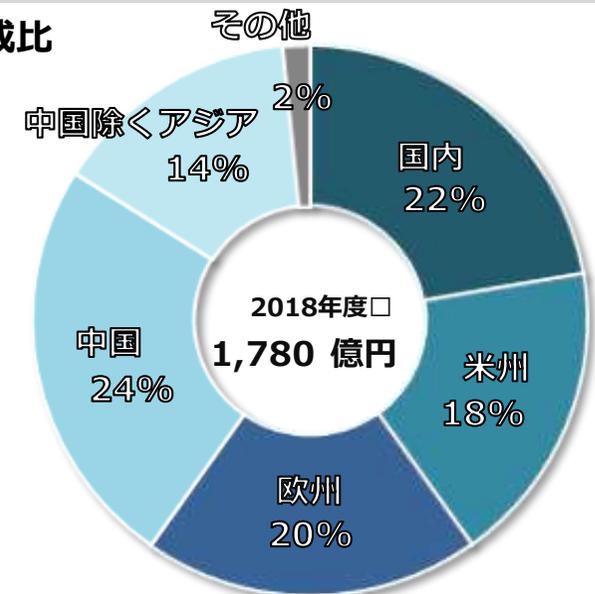
- 自動車関連は欧州をはじめグローバルで高水準
- 一般産業分野では前年好調だったスマートフォン関連の需要が減速

【営業利益】

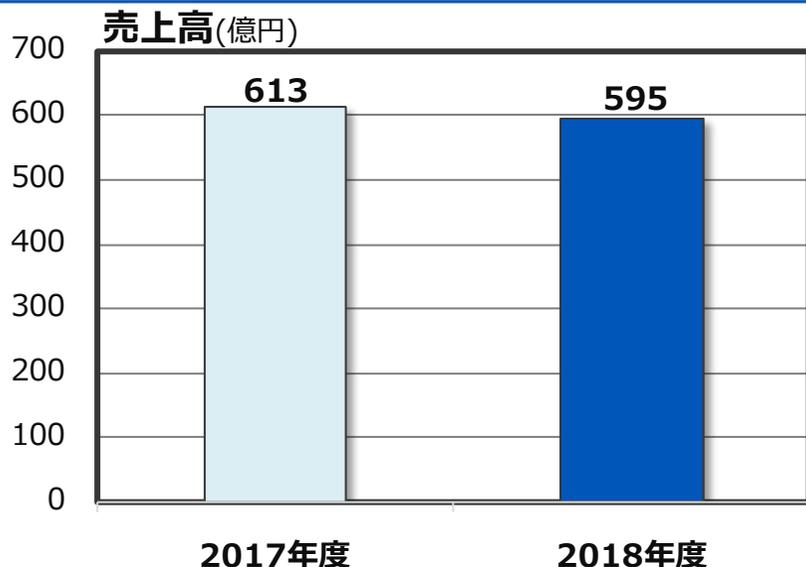
- 中国の一般産業分野向け需要が急減し、操業度が低下したことから営業利益は伸び悩む



仕向先別売上高構成比



主要事業の概要_システムエンジニアリング

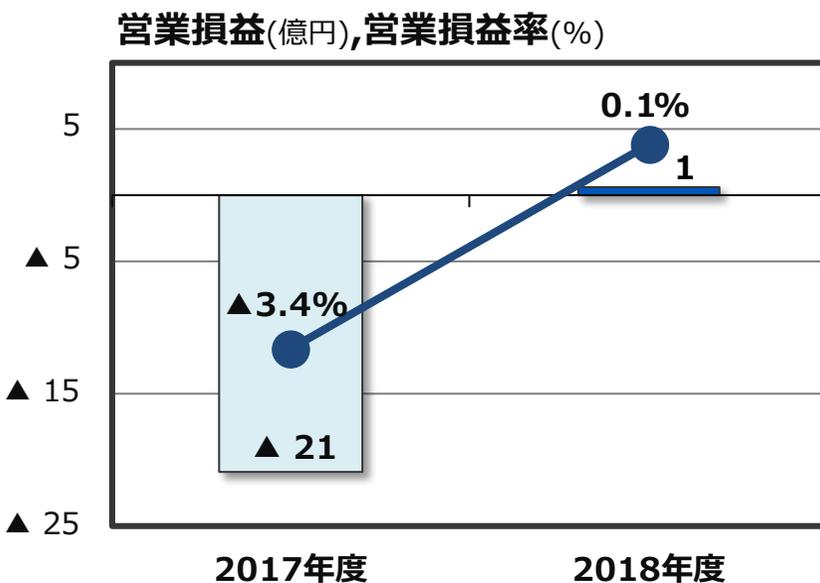


【売上高】

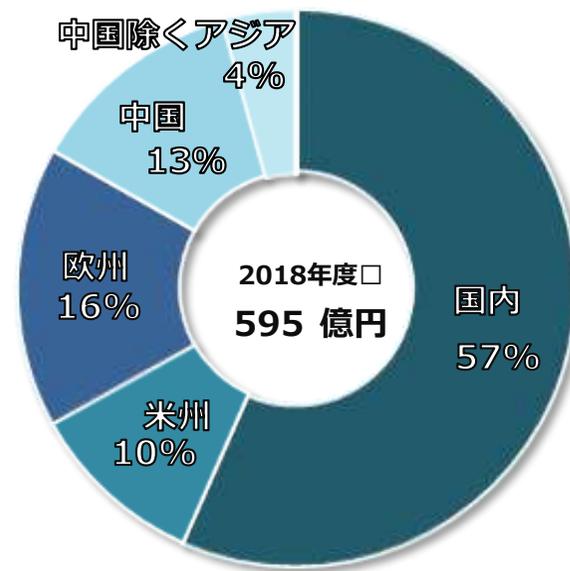
- ・ 鉄鋼・社会システムは更新需要を的確に捉え堅調
- ・ 環境エネルギー分野では太陽光発電関連が低迷も大型風力発電関連が欧州で伸長

【営業損益】

- ・ 鉄鋼・社会システムの売上増加および環境エネルギー関連の再編を通じた経費削減などにより収益性は改善し黒字に転換

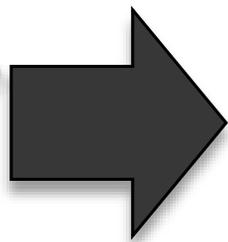
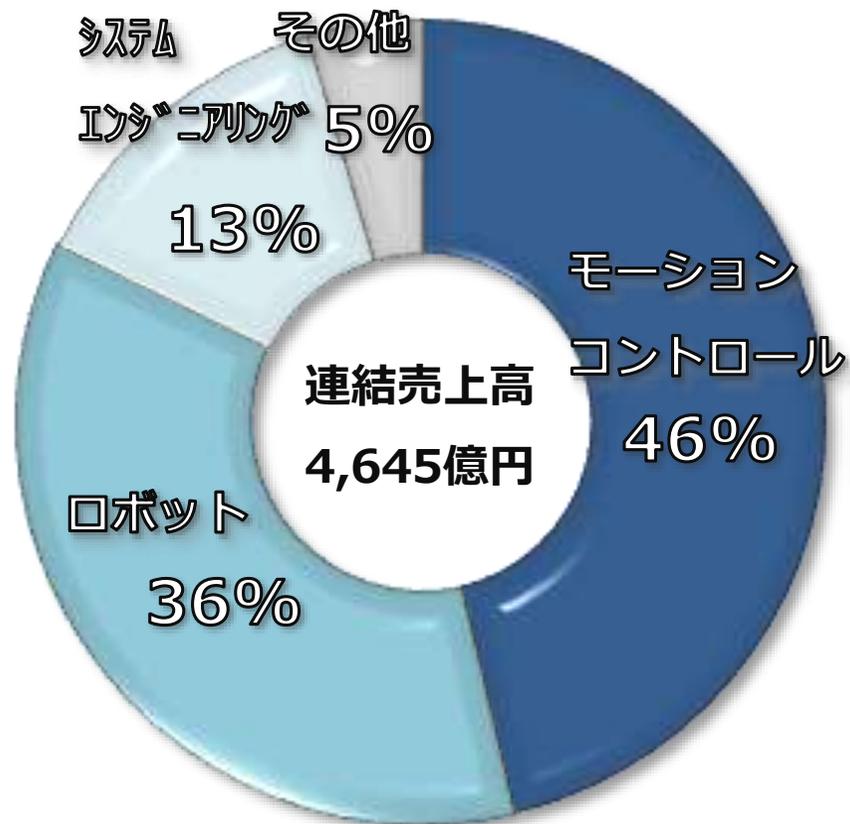


仕向先別売上

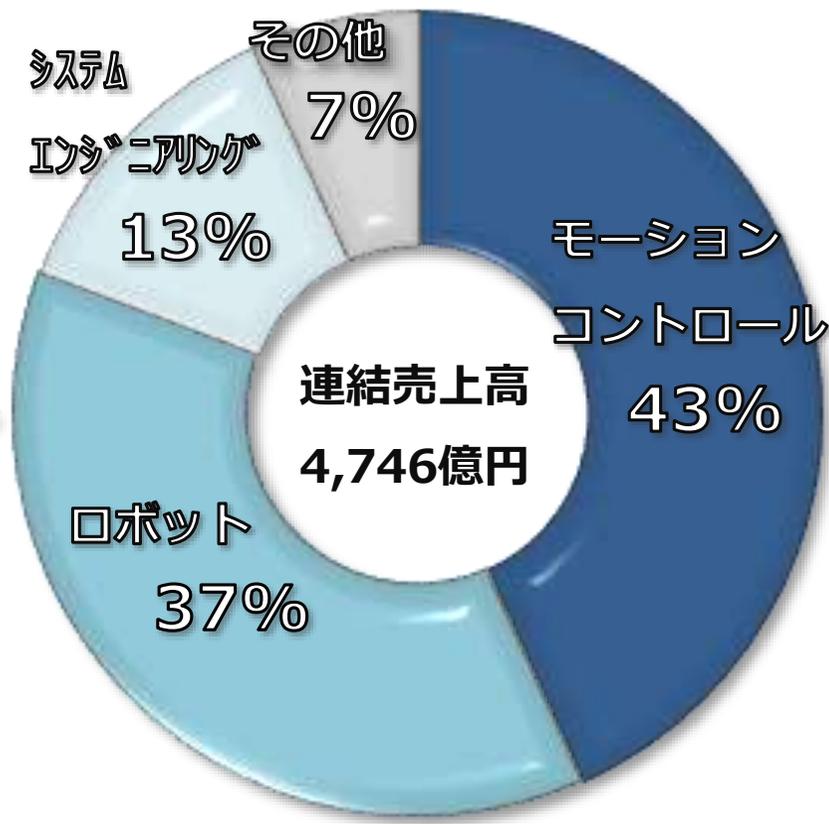


事業セグメント別売上高構成比

2017年度



2018年度



仕向先別売上高（2017年度 → 2018年度）

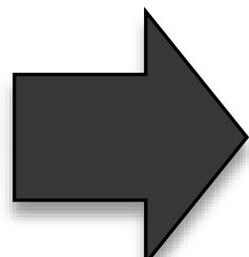
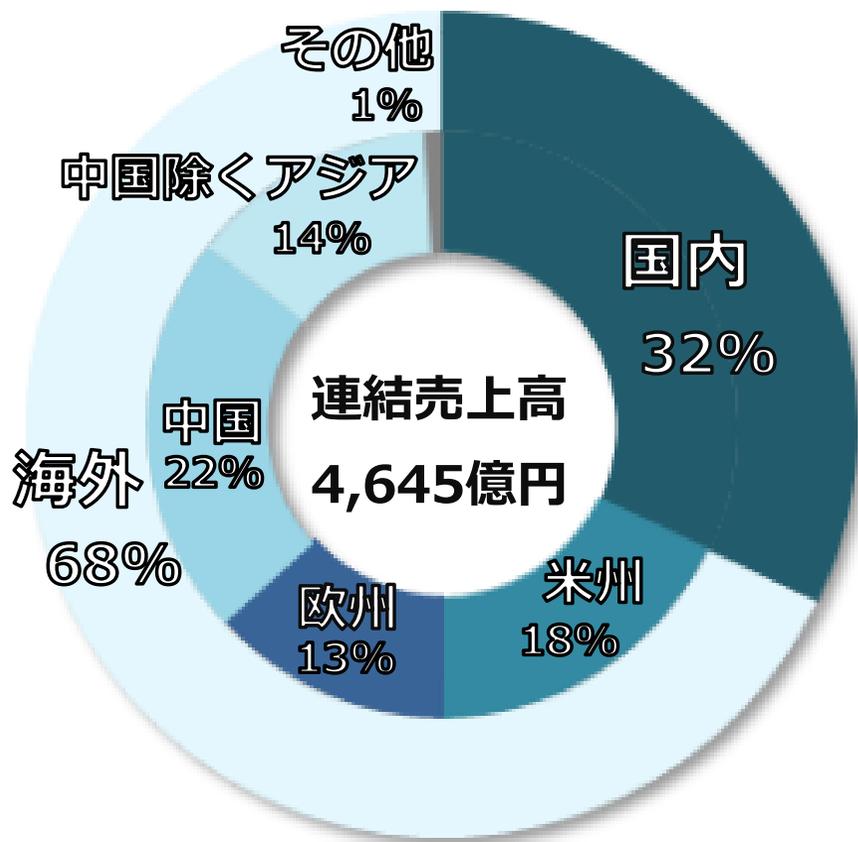
● 中国を除く全ての地域で売上拡大

	2018年度	2017年度 〈参考値〉	前年度比 〈参考値〉	
			増減額	増減率
(単位：億円)				
売上高	4,746	4,645	+101	+2.2%
国内	1,545	1,488	+57	+3.8%
海外	3,201	3,157	+44	+1.4%
米州	849	838	+11	+1.3%
欧州	666	609	+57	+9.3%
中国	1,002	1,035	▲33	▲3.2%
中国除くアジア	641	635	+6	+1.0%
その他	43	40	+3	+8.5%

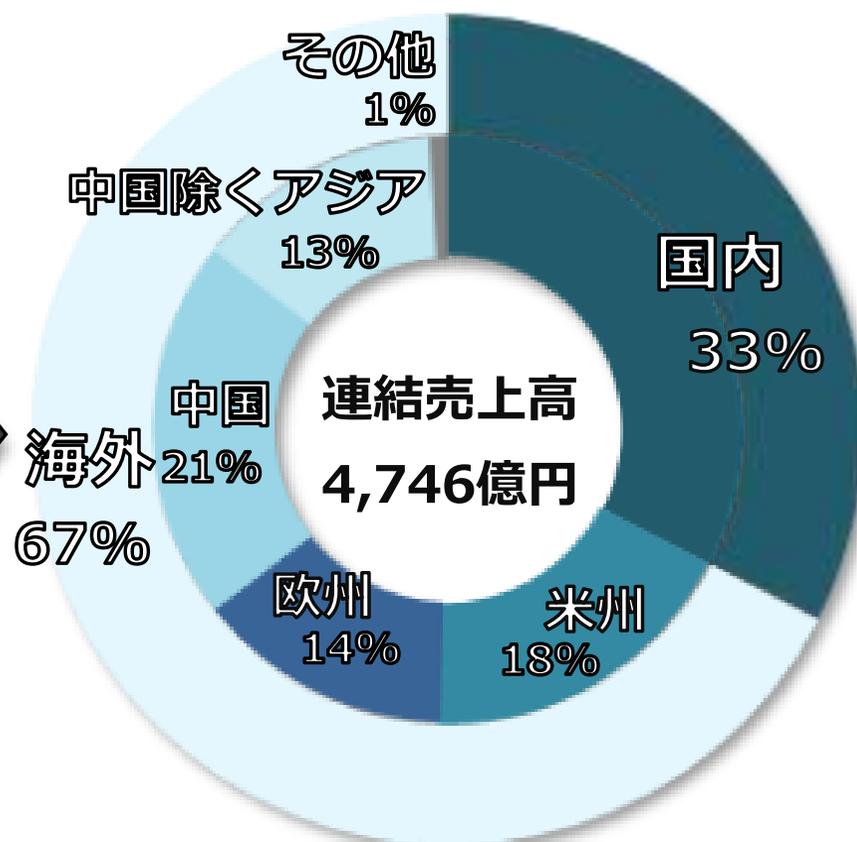
[注] その他には、南アフリカ、オーストラリア等を含む

仕向先別売上高構成比

2017年度

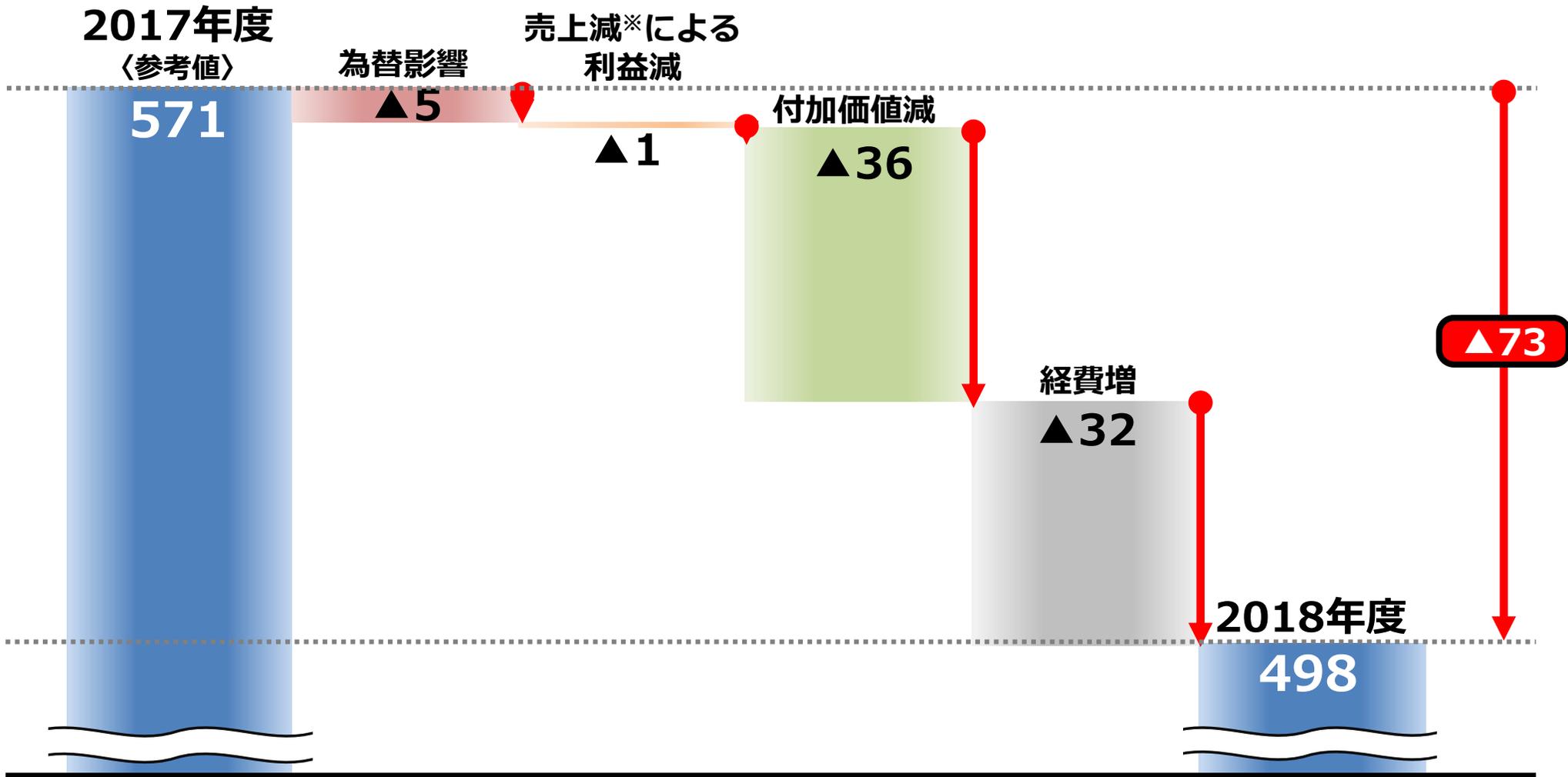


2018年度



営業利益増減要因分析（2017年度 → 2018年度）

(単位：億円)

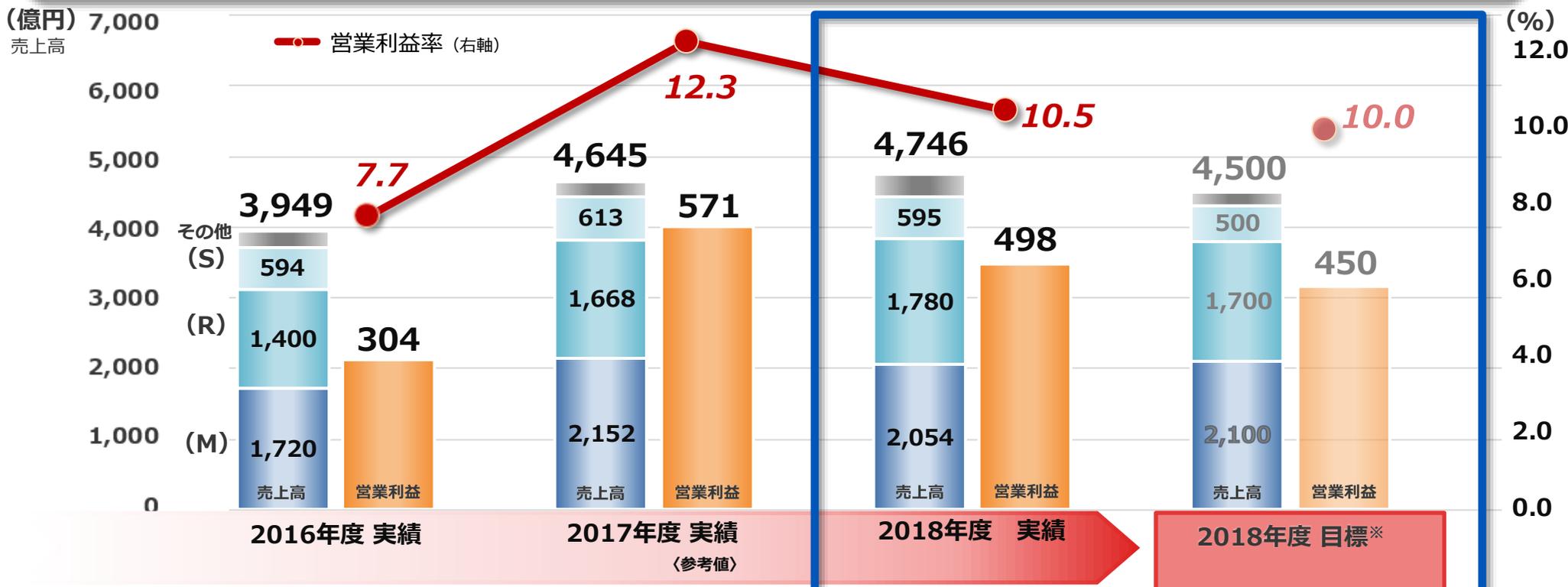


※ 新規連結影響を除く

2. 中期経営計画「Dash 25」の達成状況 (2016～2018年度)

「Dash 25」(2016~2018年度)の達成状況(1)

● 全社の売上高・営業利益および財務の目標を達成



為替レート	108円/ドル 119円/1-0	111円/ドル 129円/1-0	110円/ドル 129円/1-0	110円/ドル 125円/1-0
ROE	10.7%	18.3% (財務報告ベース)	17.1%	13%以上
配当性向	26.1%	26.8% (財務報告ベース)	33.4%	27%以上

[注] 2016年度,2017年度の実績のセグメント別売上高は、セグメント区分見直し後の数値を使用

※2016年4月策定時の数値

[注] 表記: (M) = モーションコントロール、(R) = ロボット、(S) = システムエンジニアリング

「Dash 25」(2016~2018年度)の達成状況(2):成果と課題

	取り組み・成果	課題
基本方針1 前中期計画 「Realize 100」 の成果最大化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新製品の開発・リリース <ul style="list-style-type: none"> ・サーボ、ロボットラインアップ拡充と新製品切替率向上 ■ 生産力・販売力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・中国/欧州を中心とする需要地生産の拡大 ・事業再編による販売力強化と経営の効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新製品の開発・リリース <ul style="list-style-type: none"> ・インバータ新シリーズのラインアップ拡充 ■ 生産力・販売力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・需要変動に強い生産体制の確立 ・自動化領域における競争優位性の確立
基本方針2 長期経営計画 「2025年ビジョン」 実現に向けた 基盤構築	<ul style="list-style-type: none"> ■ 安川版インダストリ4.0の実現 <ul style="list-style-type: none"> ・「i³-Mechatronics(アイキューブ メカトロニクス)」コンセプトの始動 ・安川ソリューションファクトリの本格稼働 ・事業横断的な営業体制の構築 ・AIソリューションの開発子会社「Eイキューブ」設立 ・ソフトウェアツール「YASKAWA Cockpit」の提供開始 ■ コア事業の領域拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・パートナー企業(ファンイン・美的など)との合併会社設立 ■ 「食」の自動化 <ul style="list-style-type: none"> ・子会社立上げと植物工場向けソリューションの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「i³-Mechatronics」コンセプトの実現 <ul style="list-style-type: none"> ・「i³-Mechatronics」を軸としたビジネスの創出 ■ コア事業の領域拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・中国、アジアでのロボティクスビジネス拡大 ■ 「食」の自動化 <ul style="list-style-type: none"> ・生産工程の自動化実証、ソリューション展開
基本方針3 Clean Power事業 のコア事業化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境エネルギー事業 <ul style="list-style-type: none"> ・大型風力発電用電機品の売上拡大と黒字化 ・太陽光パワーコンディショナ新製品の市場投入 ・グローバルでの事業体制の再構築 ■ EV事業 <ul style="list-style-type: none"> ・奇瑞との合併会社での量産開始 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境エネルギー事業 <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光関連ビジネスの安定的な収益体制の構築

3. 2019年度通期 連結決算見通し

2019年度 通期見通し（連結）

• 2018年度下期の受注動向を踏まえ、減収減益の見通し

	2019年度	2018年度	前年度比	
	予想	実績	増減額	増減率
売上高	4,650億円	4,746億円	▲96億円	▲2.0%
営業利益	465億円	498億円	▲33億円	▲6.6%
経常利益	480億円	508億円	▲28億円	▲5.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	350億円	412億円	▲62億円	▲15.0%

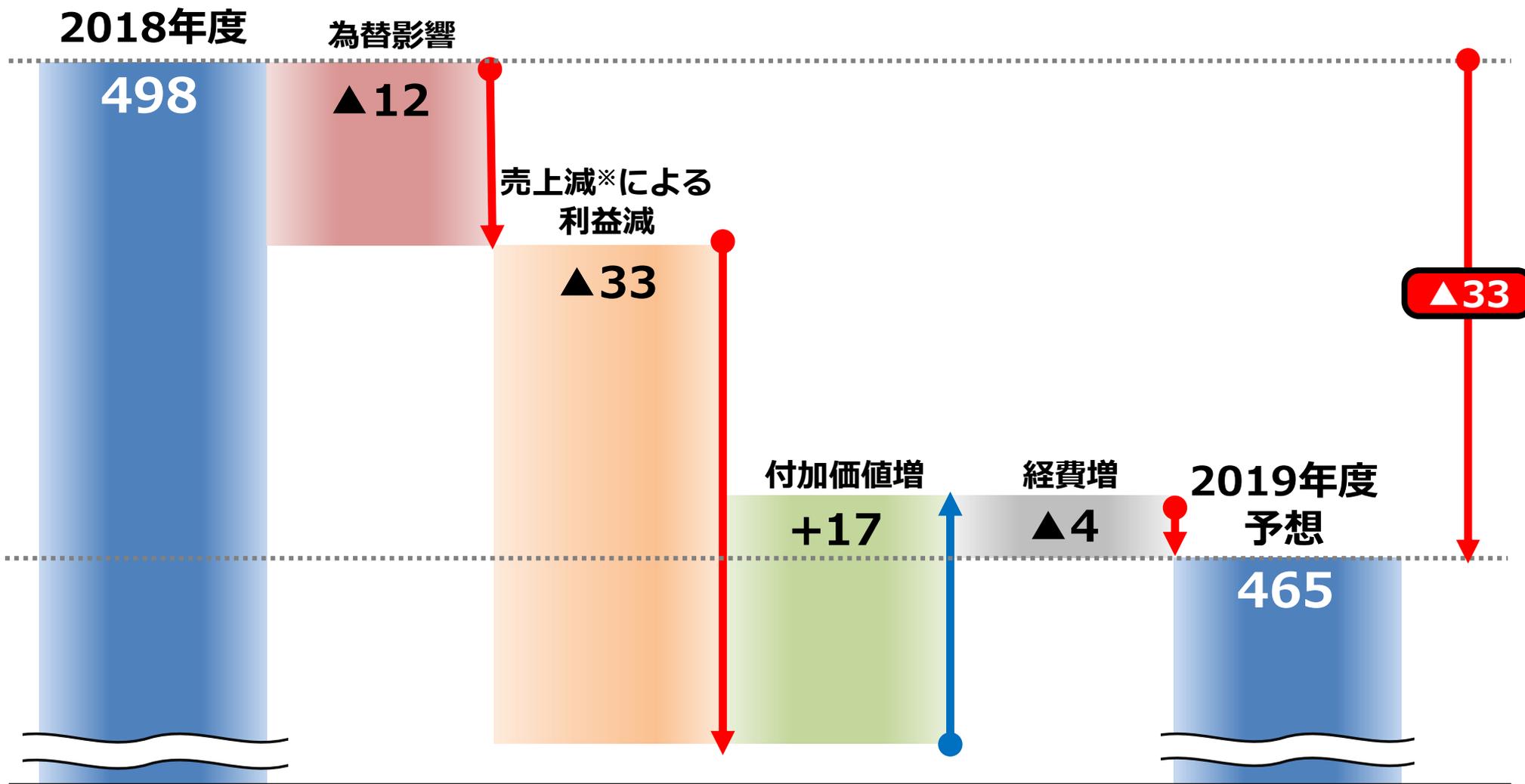
2019年度 通期見通し (セグメント別)

	2019年度		2018年度		前年度比	
	予想	利益率	実績 <small>(セグメント組換え後)[※]</small>	利益率	増減額	増減率
(単位：億円)						
売上高	4,650		4,746		▲96	▲2.0%
モーションコントロール	2,070		2,133		▲62	▲2.9%
ロボット	1,757		1,780		▲22	▲1.3%
システムエンジニアリング	546		516		+30	+5.8%
その他	276		318		▲41	▲13.0%
営業利益	465	10.0%	498	10.5%	▲33	▲6.6%
モーションコントロール	306	14.8%	342	16.1%	▲36	▲10.5%
ロボット	175	10.0%	173	9.7%	+2	+1.4%
システムエンジニアリング	7	1.2%	▲3	▲0.5%	+9	-
その他	▲4	▲1.3%	4	1.4%	▲8	-
消去または全社	▲20	-	▲20	-	▲0	-
経常利益	480	10.3%	508	10.7%	▲28	▲5.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	350	7.5%	412	8.7%	▲62	▲15.0%

※ 2018年度実績の数値は、2019年度より行うセグメント区分の見直し影響を反映した組換え後の表示となっています。詳細はP24を参照ください

営業利益増減要因分析（2018年度 → 2019年度予想）

（単位：億円）



※ 新規連結影響を除く

2019年度における取り組み（1）

➤ 販売力の強化

- ➔ソリューションコンセプト「i³-Mechatronics」の実現に向けたビジネスモデル確立
 - ・お客さまの経営課題を解決するソリューション提供「モノ+コト売り」による顧客価値の最大化

➤ 開発力の強化

- ➔安川テクノロジーセンタ(仮称)の設立準備 ※2020年度 開設予定
 - ・基礎研究から量産試作、品質管理までの一貫した研究開発体制を構築し、開発スピードを向上
 - ・産学官の共同研究など、オープンイノベーションの活用加速
- ➔次期主力製品の開発
 - ・ACサーボドライブ新シリーズの開発加速
 - ・統合コントローラの開発加速

➤ 生産力の強化

- ➔需要地生産体制の拡充
 - ・スロベニアロボット工場における安定的な生産体制の構築
- ➔i³-Mechatronicsの適用拡大
 - ・安川ソリューションファクトリの更なる進化とコンセプトのグローバル展開



スロベニア ロボット工場 外観

2019年度における取り組み（2）

▶ 新規事業の拡大

→ 食品生産・農業関連分野におけるアライアンス強化

- ・ 国内大手コンビニエンスストア向け中食製造の自動化・省人化システムの提供
- ・ 農作物の安定供給ニーズに対応した野菜自動生産システムの拡販

▶ システムエンジニアリングセグメントの収益性改善

→ 環境・エネルギー事業の採算性改善

- ・ 欧州における洋上風力発電用電機品の受注拡大
- ・ 米州を中心とした太陽光パワーコンディショナの新製品拡販

→ 事業再編による既存ビジネスの効率化実現

- ・ 安川オートメーション・ドライブを中核とした
産業用オートメーションドライブ事業の運営効率化

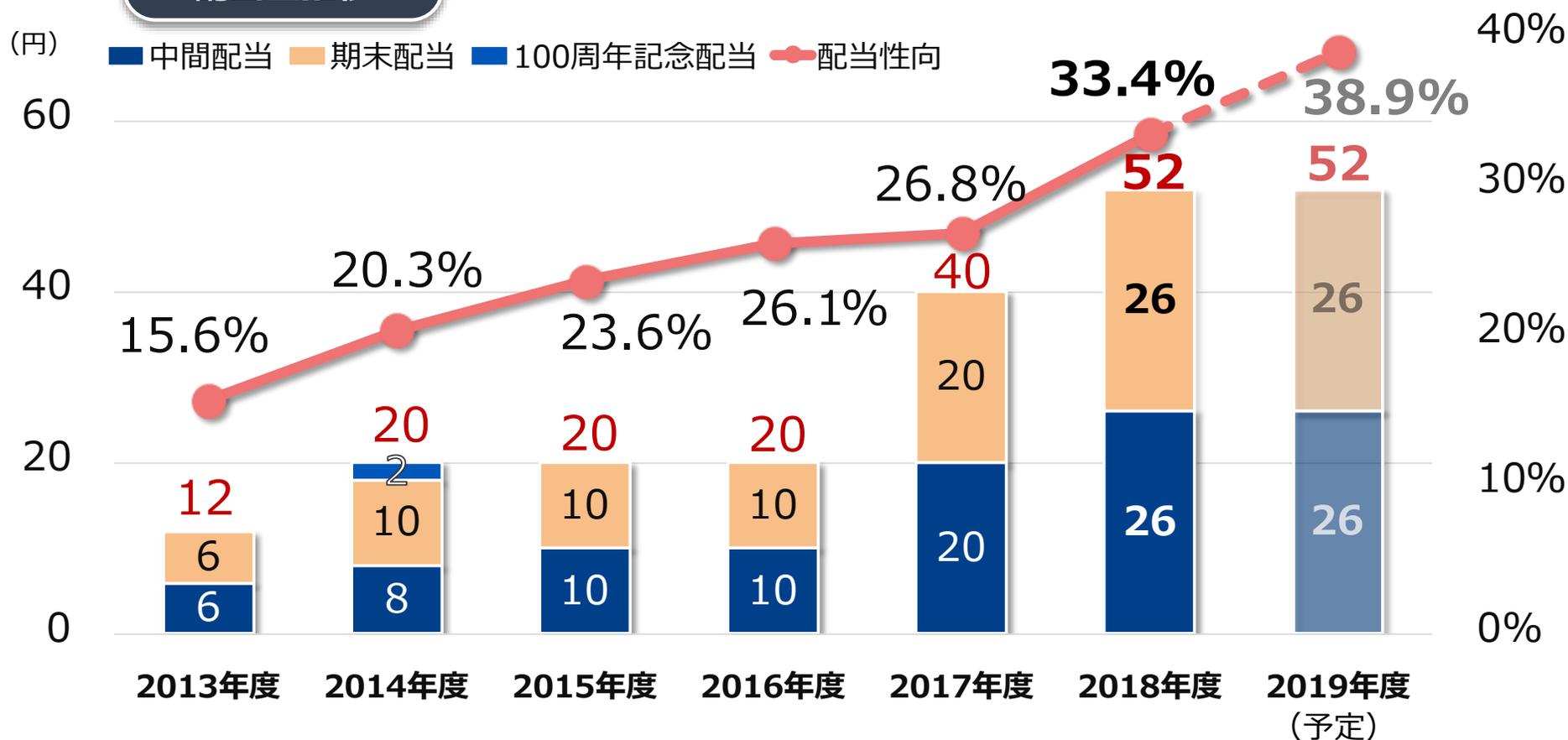


太陽光パワーコンディショナ
XGI1000 65kW

株主還元（自己株式の取得, 配当金推移）

- 自己株式200万株（最大90億円）の取得を実施
- 2019年度は前年度から据え置き、年間52円/株（配当性向:38.9%）を予定

配当金推移



4. 参考資料

セグメント変更による過年度の組換表示（2018年度実績）

- 2019年度より、従来システムエンジニアリングに含めていた、安川モートル社のサーボモータ・EVモータの生産機能およびPMモータ事業をモーションコントロールに移すなど、セグメント区分を見直し

	2018年度（セグメント変更後）							変更 影響額 (通期)	
	(単位：億円)	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期		通期
売上高		1,282	1,200	2,482	1,131	1,133	2,264	4,746	-
モーションコントロール		618	560	1,178	503	452	955	2,133	+78
ロボット		439	443	882	436	462	898	1,780	-
システムエンジニアリング		119	115	235	124	158	282	516	▲78
その他		106	82	188	68	62	130	318	-
営業利益		172	133	305	111	81	193	498	-
モーションコントロール		124	99	224	73	46	119	342	+3
ロボット		50	42	92	44	37	81	173	-
システムエンジニアリング		▲4	▲3	▲7	1	3	4	▲3	▲3
その他		6	▲0	6	▲1	0	▲1	4	-
消去または全社		▲5	▲5	▲10	▲4	▲5	▲9	▲20	-

設備投資,研究開発費の状況,為替レート・感応度

設備投資,研究開発費の状況

(単位:億円)

	2017年度(実績)	2018年度(実績)	2019年度(計画)
設備投資額	196.9	356.5	300.0
減価償却費	126.9	143.1	150.0
研究開発投資	190.7	207.9	210.0

為替レート

※ 為替レートは、期中平均レートを記載

(単位:円)

	2017年度(実績)			2018年度(実績)			2019年度(想定)
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期
対米ドル	111.5	111.5	111.5	109.3	111.7	110.5	110.0
対ユーロ	124.4	133.3	128.8	129.9	127.8	128.9	125.0
対元	16.35	17.08	16.71	16.81	16.28	16.56	16.50
対ウォン	0.099	0.101	0.099	0.100	0.099	0.100	0.100

為替感応度

(単位:億円)

	1%変動による影響額(2018年度,通期)	
	売上高	営業利益
米ドル	約9.3	約2.3
ユーロ	約7.4	約2.1
元	約9.8	約2.5
ウォン	約3.0	約1.9

B/S構造の推移

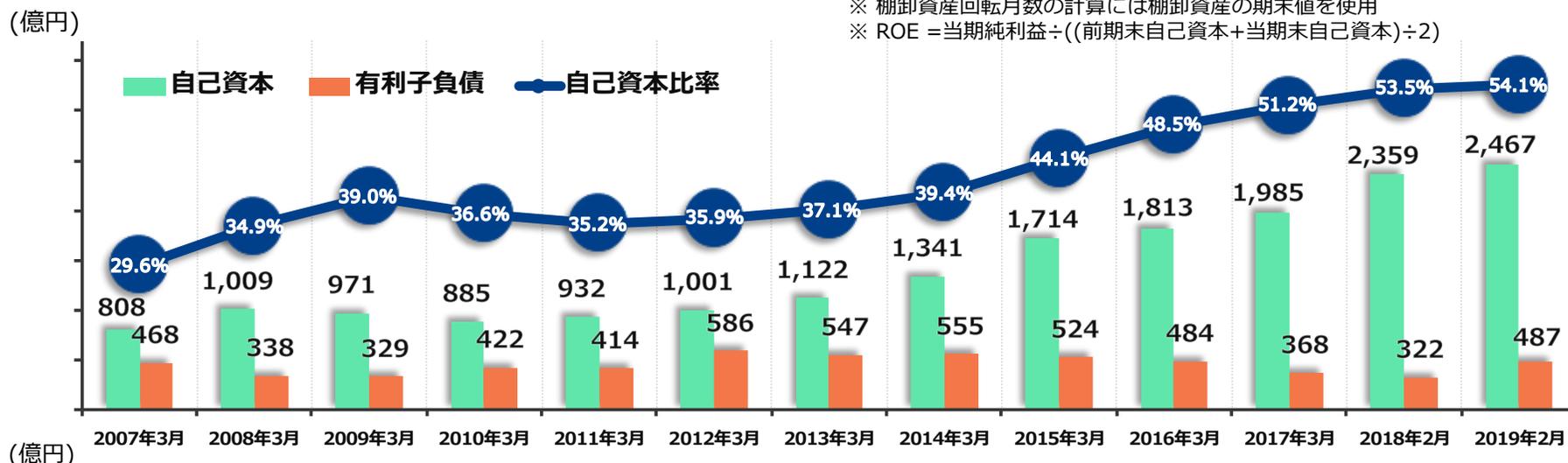
2018年2月28日時点

- 自己資本比率 53.5%
- 自己資本 2,359億円
- 有利子負債 322億円
- D/Eレシオ 0.14
(ネットD/Eレシオ) ▲0.04
- 棚卸資産 1,001億円
(回転月数) (2.7ヶ月)
- ROE 18.3%

2019年2月28日時点

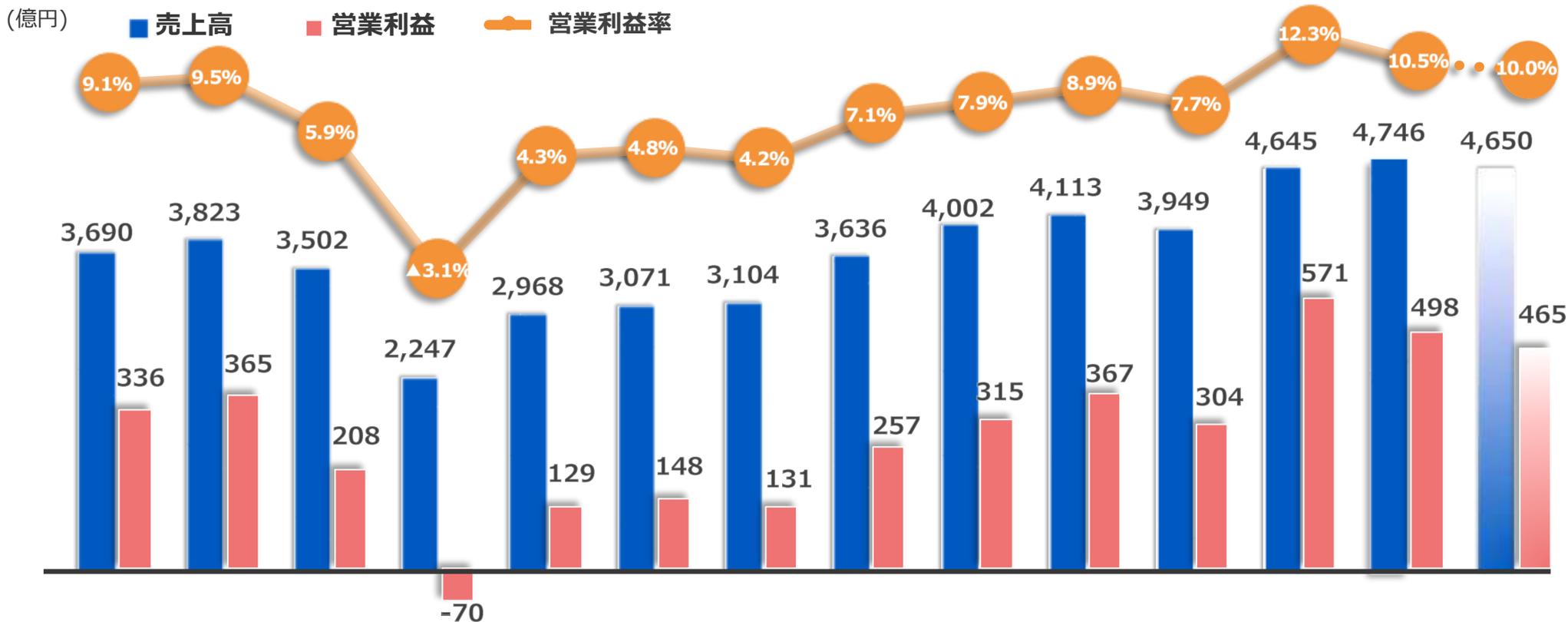
- 自己資本比率 54.1%
- 自己資本 2,467億円
- 有利子負債 487億円
- D/Eレシオ 0.20
(ネットD/Eレシオ) 0.04
- 棚卸資産 1,115億円
(回転月数) (2.8ヶ月)
- ROE 17.1%

※ 有利子負債はリース債務を含む
 ※ 棚卸資産回転月数の計算には棚卸資産の期末値を使用
 ※ ROE = 当期純利益 ÷ ((前期末自己資本 + 当期末自己資本) ÷ 2)



(億円)	2007年3月	2008年3月	2009年3月	2010年3月	2011年3月	2012年3月	2013年3月	2014年3月	2015年3月	2016年3月	2017年3月	2018年2月	2019年2月
営業CF	150	177	125	40	25	64	246	240	290	320	338	461	328
投資CF	▲ 61	▲ 99	▲ 107	▲ 65	▲ 67	▲ 119	▲ 181	▲ 169	▲ 279	▲ 224	▲ 189	▲ 189	▲ 271
フリーCF	89	78	18	▲ 24	▲ 43	▲ 55	66	70	11	95	148	272	57

連結売上高・営業利益推移（2006年度～2019年度予想）



2006年度 2007年度 2008年度 2009年度 2010年度 2011年度 2012年度 2013年度 2014年度 2015年度 2016年度 2017年度 (参考値) 2018年度 2019年度 予想

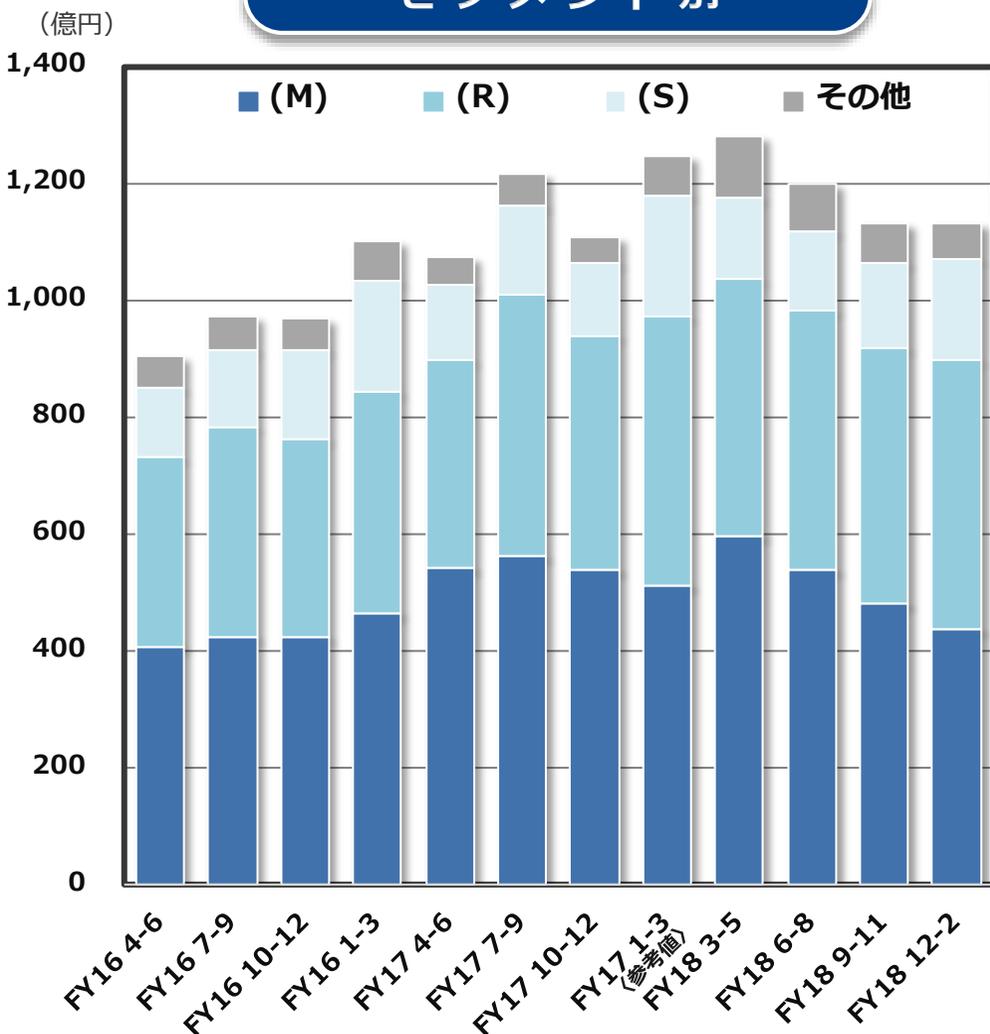
ダッシュ 100 Challenge 100 Realize 100 Dash 25

中期経営計画

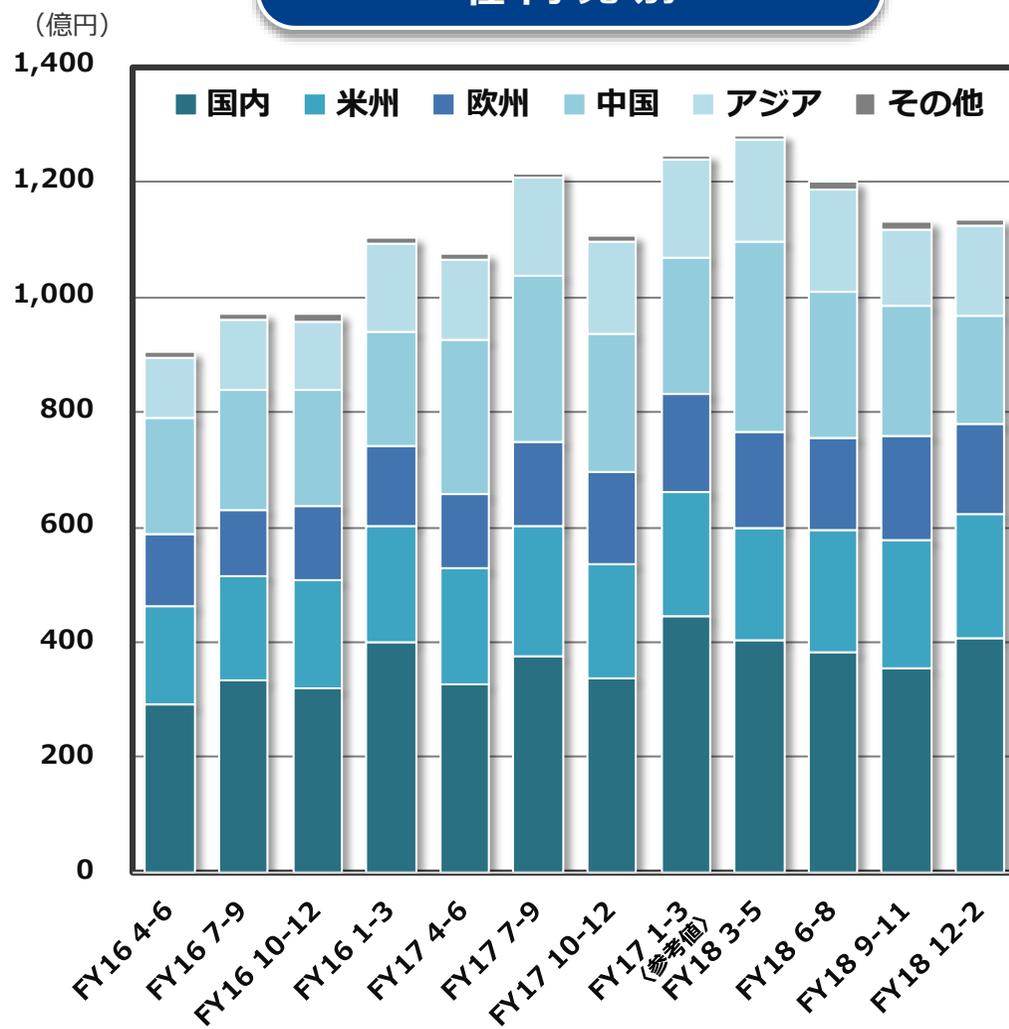
[注] 2017年度通期実績は、対象期間を2017年3月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

四半期連結売上高推移

セグメント別



仕向先別



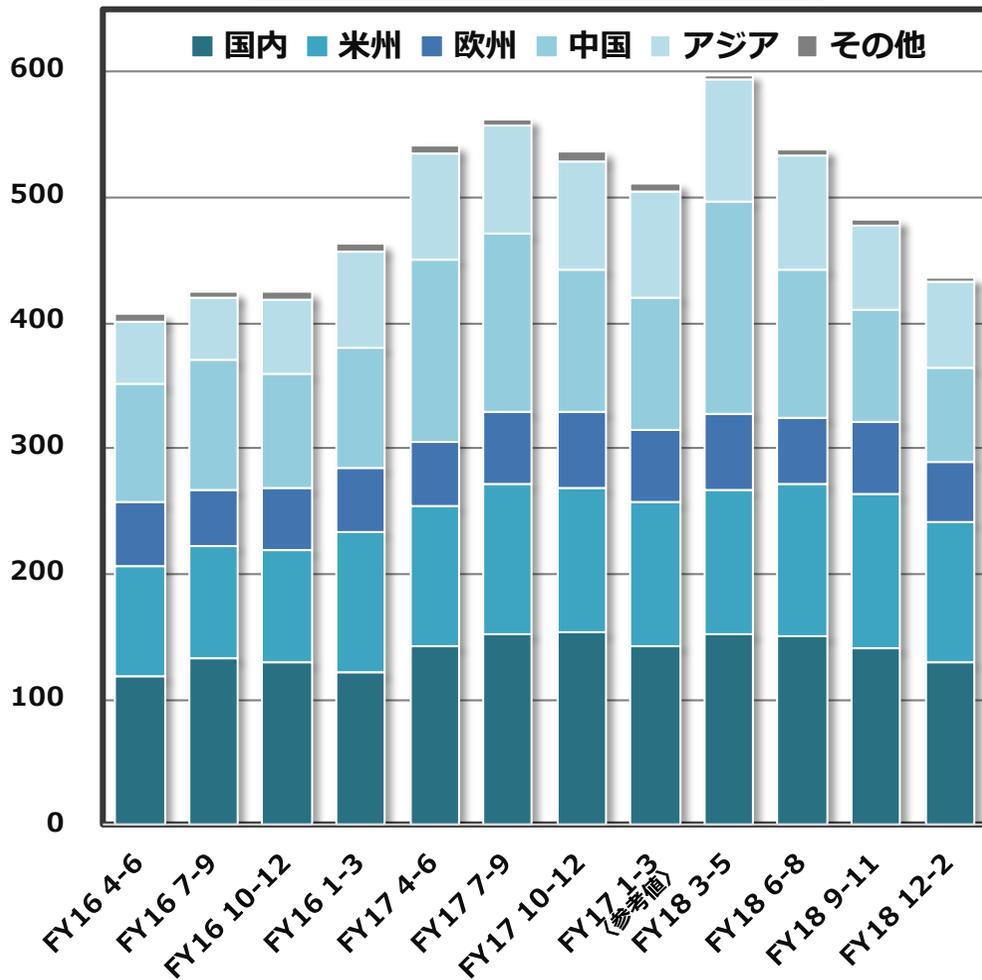
[注. 1] FY2017 1-3月期のデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

[注. 2] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

四半期連結売上高推移

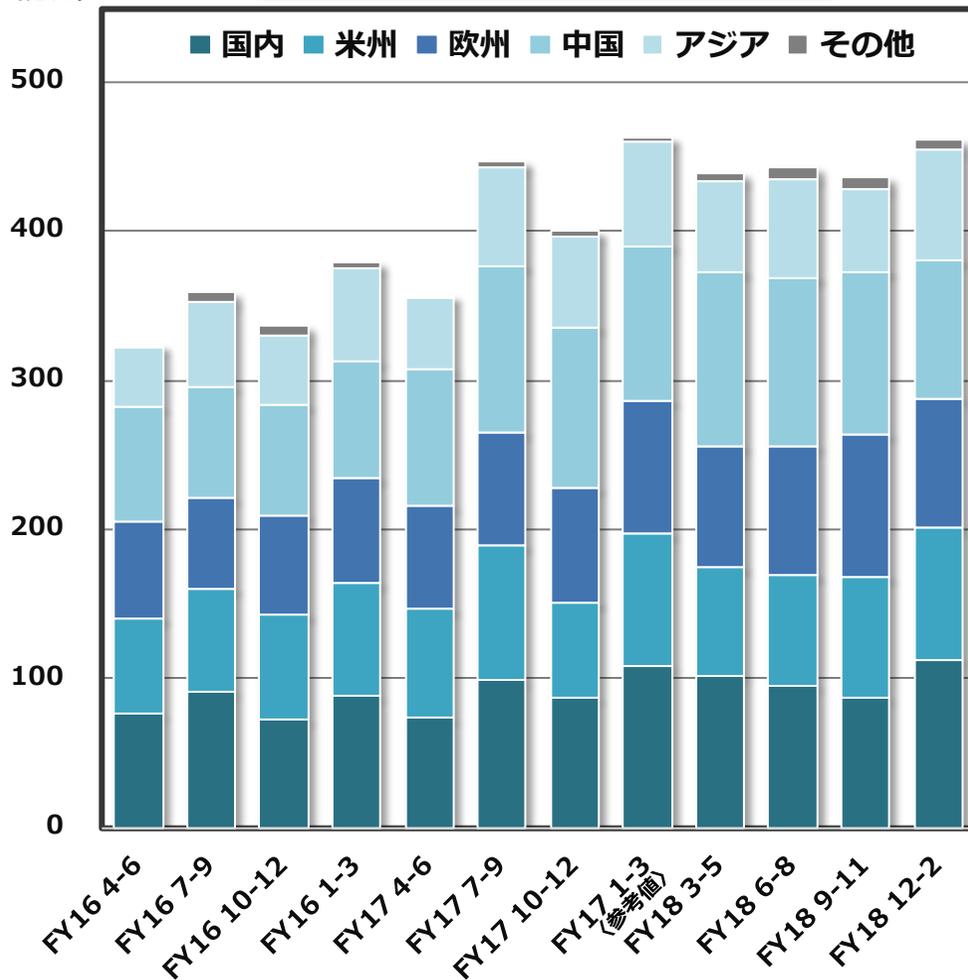
モーションコントロール

(億円)



ロボット

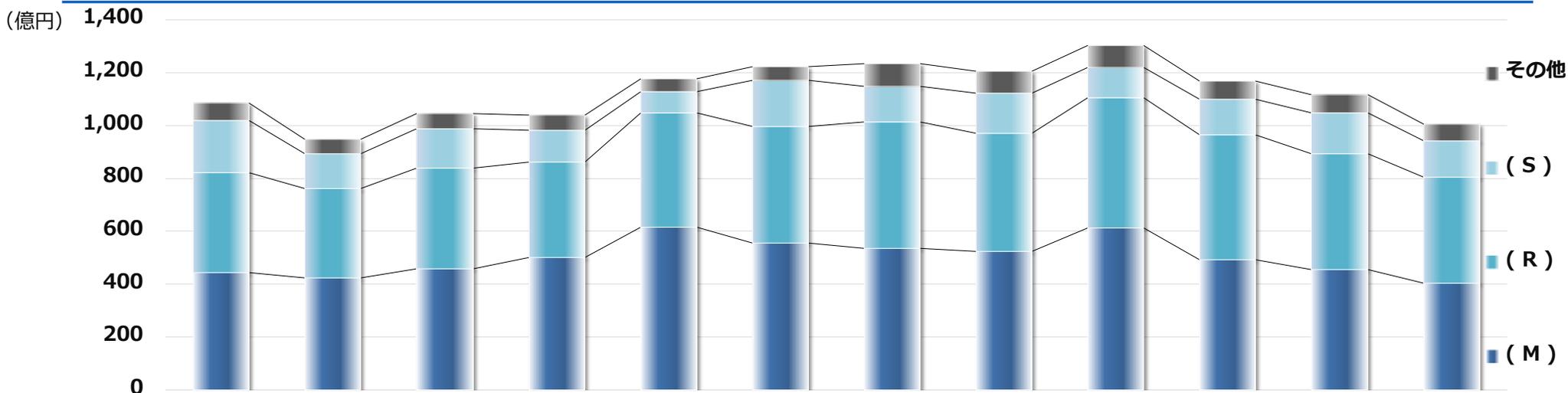
(億円)



[注] FY2017 1-3月期のデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

四半期連結受注推移（セグメント別）

※為替は期中平均レートを使用



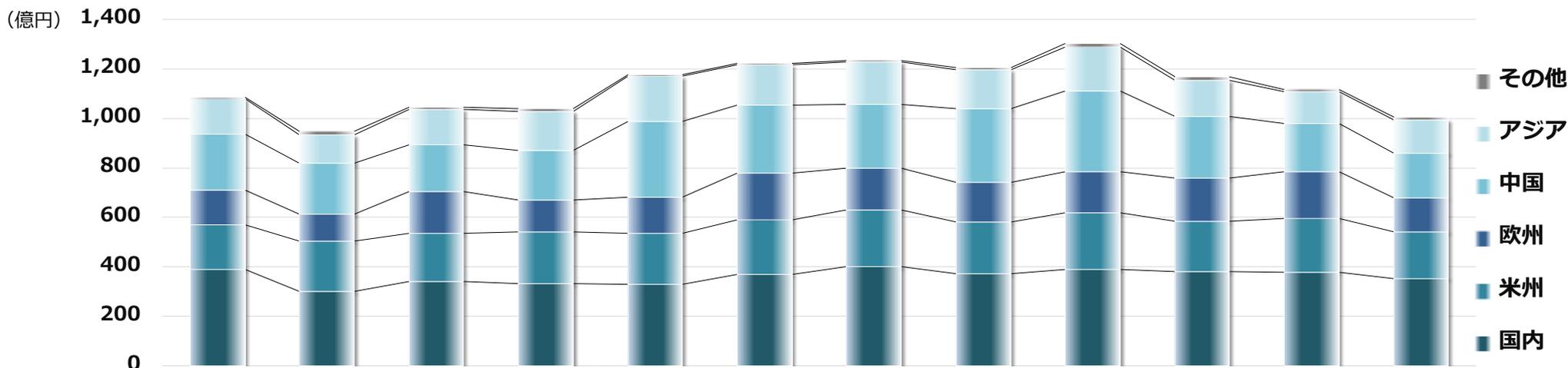
		FY2016				FY2017				FY2018			
		4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 〈参考値〉	3-5月期	6-8月期	9-11月期	12-2月期
全社	YoY	▲1%	▲8%	▲2%	+13%	+8%	+29%	+18%	+16%	+10%	▲4%	▲9%	▲17%
	QoQ	+18%	▲13%	+10%	▲1%	+13%	+4%	+1%	▲2%	+8%	▲10%	▲4%	▲10%
YoY	(M)	▲12%	▲12%	+5%	+17%	+39%	+31%	+17%	+5%	▲1%	▲11%	▲15%	▲23%
	(R)	▲9%	▲11%	+5%	+7%	+14%	+31%	+25%	+24%	+15%	+7%	▲8%	▲10%
	(S)	+106%	+31%	▲24%	+43%	▲59%	+33%	▲10%	+24%	+42%	▲24%	+16%	▲9%
QoQ	(M)	+3%	▲4%	+8%	+9%	+23%	▲10%	▲3%	▲2%	+17%	▲19%	▲8%	▲11%
	(R)	+12%	▲11%	+13%	▲5%	+19%	+2%	+8%	▲6%	+11%	▲4%	▲7%	▲9%
	(S)	+134%	▲33%	+14%	▲20%	▲33%	+118%	▲23%	+11%	▲23%	+16%	+16%	▲12%
為替レート	円/ドル	110.8	103.5	104.8	114.5	111.9	111.1	112.2	110.7	107.8	110.8	112.7	110.6
	円/ユーロ	124.5	115.6	115.3	121.5	120.9	127.9	132.4	134.2	130.9	128.9	129.6	125.9

[注.1] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

[注.2] FY2017 1-3月期のデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

四半期連結受注推移（仕向先別）

※為替は期中平均レートを使用



		FY2016				FY2017				FY2018			
		4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 〈参考値〉	3-5月期	6-8月期	9-11月期	12-2月期
全社	YoY	▲1%	▲8%	▲2%	+13%	+8%	+29%	+18%	+16%	+10%	▲4%	▲9%	▲17%
	QoQ	+18%	▲13%	+10%	▲1%	+13%	+4%	+1%	▲2%	+8%	▲10%	▲4%	▲10%
YoY	国内	+9%	▲15%	▲6%	+11%	▲15%	+23%	+18%	+12%	+18%	+4%	▲6%	▲6%
	米州	▲17%	▲1%	▲2%	+7%	+15%	+9%	+17%	+0%	+11%	▲10%	▲5%	▲10%
	欧州	▲3%	▲18%	+2%	+6%	+2%	+73%	▲0%	+25%	+16%	▲6%	+11%	▲15%
	中国	+10%	▲2%	▲12%	+21%	+36%	+34%	+38%	+47%	+6%	▲9%	▲25%	▲39%
	アジア	▲13%	▲10%	+17%	+15%	+27%	+40%	+20%	+1%	▲2%	▲11%	▲26%	▲14%
QoQ	国内	+29%	▲23%	+14%	▲2%	▲1%	+12%	+9%	▲7%	+4%	▲2%	▲1%	▲7%
	米州	▲8%	+14%	▲5%	+7%	▲1%	+8%	+2%	▲8%	+10%	▲12%	+8%	▲14%
	欧州	+17%	▲23%	+58%	▲25%	+13%	+30%	▲9%	▲6%	+5%	+5%	+8%	▲28%
	中国	+37%	▲9%	▲9%	+7%	+53%	▲11%	▲6%	+15%	+10%	▲24%	▲22%	▲7%
	アジア	+4%	▲19%	+23%	+10%	+15%	▲10%	+5%	▲7%	+12%	▲18%	▲13%	+7%

[注] FY2017 1-3月期のデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

主要生産拠点



YASKAWA

© 2019 YASKAWA Electric Corporation